

セルフケアの充実、自立支援に活用できる
「ケア方針検討会」
「訪問型サービスC」について

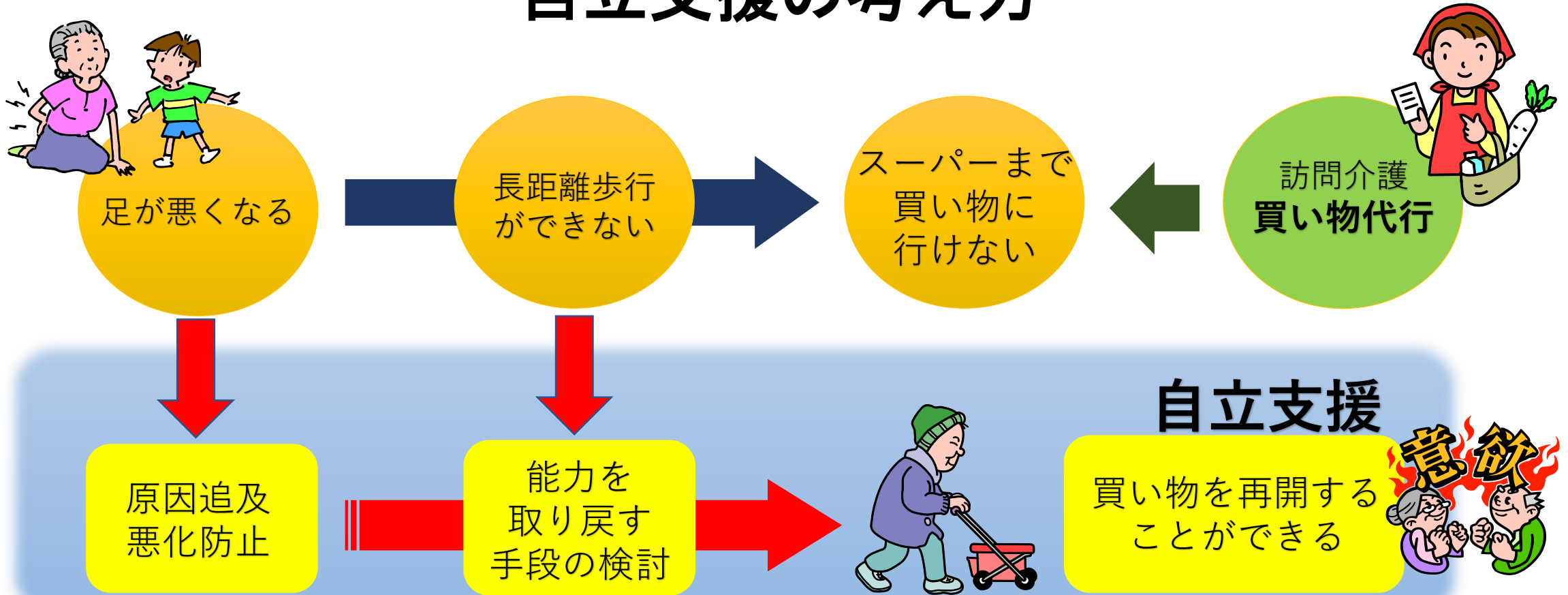
令和3年12月14日(火)
けあまねっと全体会

ケア方針検討会の目的

ケア方針検討会は、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活が続けられるよう、多職種協働によるケア方針の検討を通じ、

- ・ 高齢者の自立支援に役立つケアマネジメントの支援、
- ・ 地域包括支援ネットワークの構築や地域課題を把握する

自立支援の考え方



出来ない部分に対して、サービスにて補っていく支援のみではなく、自ら行えるようになることを目指していく考えを**本人・家族に働きかけていく**

ケア方針検討会（地域ケア会議）

《内 容》

- 薬剤師、歯科衛生士、作業療法士、管理栄養士が個別の利用者の抽出された課題に対しての助言を行います。
- 訪問型サービスCの必要性を検討します。

※ 訪問型サービスCの利用につなげることが目的ではなく、助言を受け、効果的なマネジメントを実施できることを目指します。

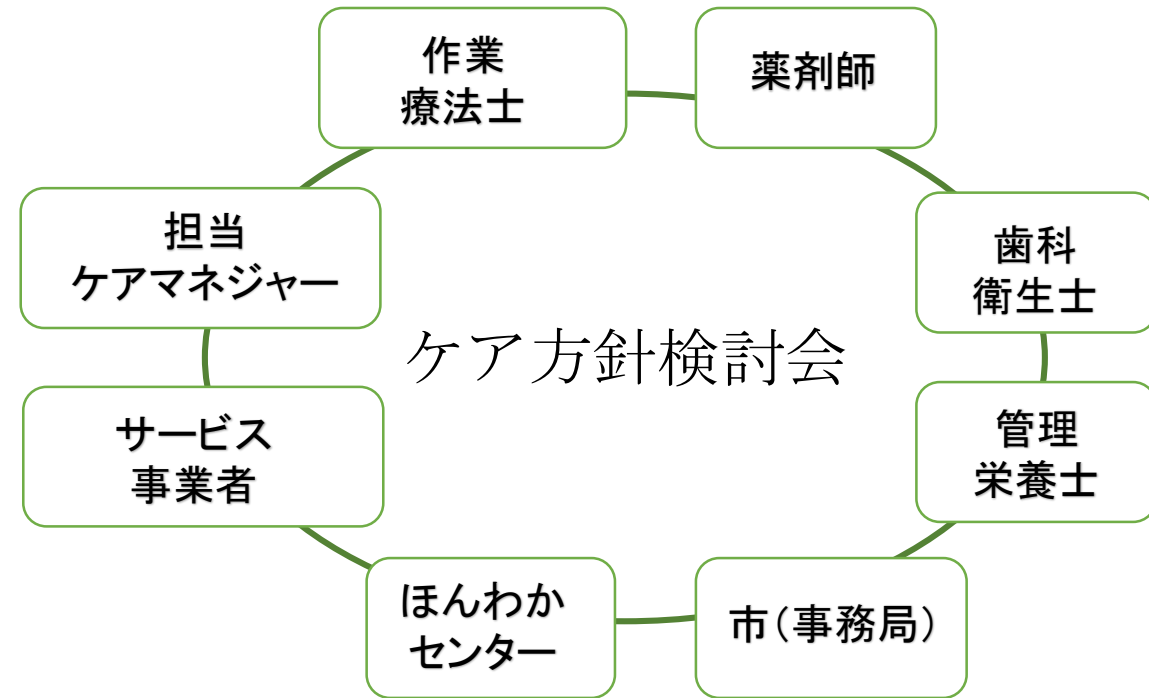
《開催日》 月2回 第2・4水曜日 13:30～2事例（1ケース 40分程度）

《開催場所》 富田林市役所 5階 認定審査会室

《対 象》 事業対象者、要支援1、要支援2の方

ケア方針検討会委員の専門職

- 作業療法士
- 管理栄養士
- 歯科衛生士
- 薬剤師



ケア方針検討会に必要な書類

①計画書

(現在使用しているケアプラン、
または、原案作成中のプラン、変更を考えているケアプランなど)

②口腔アセスメントシート

③摂食嚥下アセスメントシート

④興味関心チェックシート

お歯医者さんへ問います

口腔アセスメントシート

用いてご確認ください項目に☑をつけてください。

氏名	姓	性別	年齢	月	日
生年月日	年	月	日	性	

① 歯

- ☐ 歯が痛い、しみる
- ☐ 歯に穴があいている、黒く becoming
- ☐ 歯がぐらぐら動く

② 歯肉

- ☐ 歯肉から出血している
- ☐ 歯肉が腫れている
- ☐ 歯肉が痛い



③ 義歯

- ☐ 義歯はあるが使っていない
- ☐ 義歯を入ると痛い
- ☐ 義歯が外れやすい
- ☐ かみ合わせがないが、義歯を持っている

④ 舌・口腔ケア

- ☐ 舌苔が付着
- ☐ 多量の唾液が付着
- ☐ 口のひび割れや口の乾燥がある
- ☐ 口臭がある

□ その他、口中で気になることがある

1つでも☑がついた場合は、歯科に相談してください

編纂：社会福祉法人 東京支店本部（編集）
 監修：一般社団法人 日本介護福祉士会 東京支部、東京都高齢者保健推進センター

（お送り先専門医へお送り）

摂食嚥下 アセスメントシート

（アセスメント結果を専門医へお送り）

当てはまる項目に ☒ をつけてください。

全身状態

- ☐ 最近、やせてきた（身長： cm、体重： kg）
- ☐ 風邪以外で熱が出ることがある（平熱： ℃）
- ☐ 頻回性肺炎という診断を受けたことがある
- ☐ 咳や痰が多い

食事に ついて

- ☐ 食べ物のが選なくなった
- ☐ 食べにくいものが出てきた
- ☐ 食べこぼす
- ☐ 食事中にむせる
- ☐ のどがゴロゴロ鳴る
- ☐ 口のなかや、のどの奥に食べ物が残る
- ☐ のどに詰まることがある
- ☐ 薬が飲み込みにくい
- ☐ 食べ物や胃液が逆流する
- ☐ その他、摂食嚥下のことである気がする

☒ が多く、気になる症状がある場合は、摂食嚥下専門医に相談してください。

編集：社会福祉法人 東京正心社（代表 倉持 隆雄） 発行：公益財団法人
 一般社団法人 日本摂食嚥下学会

[illegible]

※②～④については、事前に情報収集・アセスメントを実施してください。

※本人に自主的に記載してもらうことも方法の一つです。

ケア方針検討会の流れ

- ①開会
- ②事例紹介（概要説明：担当するに至った経緯など）
- ③資料（提出しているプランなど）の読み込み
- ④補足説明や課題について（担当ケアマネジャーより説明）
※事業所に参加してもらっている場合は、支援の内容などを報告してもらいます。
- ⑤専門職からの質問（事例を深める）
- ⑥専門職からの助言、訪問型サービスCの必要性の検討
- ⑦事例提供者感想、振り返り
- ⑧閉会

※一事例：40～45分くらいです。



富田林市の訪問型サービスCについて

サービス種別	訪問型サービスC (短期集中予防サービス)
サービス内容	専門職による居宅での相談指導等
対象者とサービス提供の考え方	☆富田林市ケア方針検討会で必要性を判断 ○ 「介護予防」「生活支援」「社会参加」に向けた支援が必要なケース ○ ADL・IADLの改善に向けた支援が必要なケース ※ 3～6か月の短期間で行う
実施方法	直接実施／委託
サービス提供者	歯科衛生士・管理栄養士・作業療法士の専門職
利用者負担	無料



是非、ケア方針検討会へケースを出してみてください

要支援 1, 2 のおよそ半数 → 「**生活不活発病関連**」

☞ 予防していかなければ、悪化し、**重度化**するリスクが高まる

☞ 早い段階から、自立支援・介護予防に取り組むことで改善が期待

専門職の視点で見たときに…

早期に対応することで悪化を防げるような新たな課題や
より良い生活に向けたヒントが見つかるかもしれません。

こんな利用者いませんか？

- 「今まで行っていた畑や地域の集まりに行かなくなった人
- 「デイに週2回行っているが、それ以外は家でゴロゴロ過ごしている人」
- 「だんだん太ってきている人」「だんだん痩せてきている人」
- 「いろんな病院に掛かり、薬をたくさんもらい、管理が不十分な人」
- 「会話や水分補給している時にむせ込みが見られる人」
- 「何を言っても響かない、どうしたらやる気になってもらえるだろうと思う人」

⇒ぜひ一度検討会へ出してください

今まで見えなかった課題や問題点の気づき、今後のアプローチ方法など、何か新しいきっかけを見つけてもらえると思います。

検討会に出されたケアマネジャーの感想や 訪問型サービスCを利用した方の意見



【ケア方針検討会の感想】

- 口腔についてのアセスメントの工夫や視点、口腔や摂食嚥下アセスメントシートの有効的な活用方法が聞けた。
- 食事摂取量や内容から、必要な栄養素が足りていないことや低栄養のリスクについて知ることができた。
- 検討会に参加したサービス事業所に対して、在宅での自立した生活を送るための必要な運動内容の提案をしてもらえた。
- 内服薬の副作用で、生活に支障（ふらつき、便秘）がでている可能性があり、主治医に相談するきっかけになった。

【訪問型サービスC利用しての感想】

- 興味、関心ごとを引き出してもらい、本人に目的をもって運動に取り組めるよう意識を高めることができた。
- 本人の口腔ケアに対する意識が高まり、自主的な嚥下体操の実施やアセスメント・モニタリング時に口腔状態の把握がしやすくなった。
- 本人や家族に対して、食事バランスや筋力維持のための食材など具体的な栄養摂取の方法について教えてもらうことができた。

ケアマネジャーとともに 介護予防・自立支援の充実を目指して

- ・ 5 年計画『みんなで取り組む重度化予防』

⇒キーワード：自立支援型ケアマネジメント、セルフケアの推進

⇒ケアマネジャーとともに推進していかなければ達成されない

⇒ケアマネジャーとの意見交換の場の設定



オナカマ食堂

同じ釜の飯をおいしく楽しく食べて元気になる食堂

《利用対象》

- ・ 地域にお住まいの高齢者
- ・ 栄養支援が必要であるが、外来栄養指導や訪問栄養指導につなげにくい方
- ・ 摂取嚥下が困難や食欲不振など栄養支援が難しい方のご家族や支援者

《利用料》

- ・ お弁当代 700円

《問い合わせ》 NPO法人はみんぐ南河内

オナカマ食堂の思い

オナカマ食堂は、宅配弁当を活用した「同じ釜の飯を、おいしく楽しく食べて元気になる食堂」です。食べにくい・飲みにくい、糖尿病や高血圧の食事など、管理栄養士に気軽に相談してください。

こんな時だからこそ、健康づくりに早めにとりくみましょう。

最後に…

- ◆ 今このような状況だからこそ、十分な対策のもと、
高齢者に早めに健康づくり・介護予防に取り組んでもらう必要がある
- ◆ 医療・介護・地域が一体となり、『介護予防・自立支援』を促進していく

ご清聴ありがとうございました